

運営推進会議等開催報告書

令和 8年 7月 23日

事業所名	グループホーム ガリラヤ久米		
担当者	西岡 忍	電話番号	970-9101

1 開催日時	令和 8年 7月 23日 13:30 ~ 14:30																												
2 開催場所	ガリラヤ久米 3F 多目的ホール																												
3 出席者	<table><tr><td rowspan="5">6人</td><td>地域包括支援センター小野久米</td><td></td></tr><tr><td>松山市社会福祉協議会</td><td></td></tr><tr><td>民生児童委員</td><td></td></tr><tr><td>グループホームご家族様</td><td></td></tr><tr><td>小規模特別養護老人ホームご家族様</td><td></td></tr><tr><td rowspan="8">(2) 職員 7人</td><td>理事長</td><td>佐々木 信也</td></tr><tr><td>施設長</td><td>佐々木 忍</td></tr><tr><td>副施設長</td><td>二神 靖夫</td></tr><tr><td>特養短期係長</td><td>和田 久美</td></tr><tr><td>グループホーム係長</td><td>西岡 忍</td></tr><tr><td>小規模特別養護老人ホーム生活相談員主任</td><td>横山 恵美</td></tr><tr><td>小規模特別養護老人ホーム生活相談員</td><td>吉田 千夏子</td></tr></table>			6人	地域包括支援センター小野久米		松山市社会福祉協議会		民生児童委員		グループホームご家族様		小規模特別養護老人ホームご家族様		(2) 職員 7人	理事長	佐々木 信也	施設長	佐々木 忍	副施設長	二神 靖夫	特養短期係長	和田 久美	グループホーム係長	西岡 忍	小規模特別養護老人ホーム生活相談員主任	横山 恵美	小規模特別養護老人ホーム生活相談員	吉田 千夏子
6人	地域包括支援センター小野久米																												
	松山市社会福祉協議会																												
	民生児童委員																												
	グループホームご家族様																												
	小規模特別養護老人ホームご家族様																												
(2) 職員 7人	理事長	佐々木 信也																											
	施設長	佐々木 忍																											
	副施設長	二神 靖夫																											
	特養短期係長	和田 久美																											
	グループホーム係長	西岡 忍																											
	小規模特別養護老人ホーム生活相談員主任	横山 恵美																											
	小規模特別養護老人ホーム生活相談員	吉田 千夏子																											
	4 活動状況報告	別紙のとおり																											
5 活動状況に関する評価																													
	季節を感じるイベントで利用者の表情が豊かになっている																												
6 主な要望、助言等	<table><tr><td>①</td><td>行事、イベントを楽しそうにしている。ピールのゼリーは初めて見ました。ラベルをガリラヤにしているのがこだわりを感じます。</td></tr><tr><td>②</td><td>事故報告よりヒヤリハットが減っている。ヒヤリハットの積み重ねで大きな事故を減らす。小さな事故の気付きから予防してください。</td></tr><tr><td>③</td><td>ヒヤリハットとはなにか？</td></tr><tr><td>④</td><td>イベント盛りだくさんですばらしい。オンラインの研修取り入れている。</td></tr><tr><td>⑤</td><td>イベントで皆さんいい顔している。刃物は危ないから触らせないようにしている所もある中で、しているのがいいと思いました。家族が犬を連れてくるのは他では外で会っているイメージがあるが施設の中に入って他の利用者ともコミュニケーションをとれている。</td></tr><tr><td>⑥</td><td>ヒヤリハットは保険屋でもある。客に契約の時に伝えるが勉強した人でも間違える事がある。</td></tr><tr><td>⑦</td><td>家族が犬を連れて来られる場合、他の施設では外で会うというイメージがありますが、施設の中に犬が入ることで、他の利用者の方とも触れ合ったり、コミュニケーションをとったりできるのが良いと思います。犬が会いに来てくれることで、「触りたい」と自発的に手を伸ばしたり、動かうとされたりすることもあり、良い刺激になっていると感じました。</td></tr><tr><td>⑧</td><td>母が入居して3年目になります。最近では、「何を食べた？」と聞いても、以前のように返事が返ってこないことが増え、認知症が進んできたのかなと感じることがあります。そのような中でも、動画や写真を通して母の笑顔を見ることができ、安心しました。犬を笑顔で触っている姿も見ることができ、施設でいろいろな経験や楽しい時間を過ごさせていただいていることに感謝しています。</td></tr><tr><td>⑩</td><td>毎回、イベントの内容が工夫されていて感心します。皆さんの表情もいきいきしており、手作り感のあるおやつも良いと思いました。</td></tr><tr><td>⑪</td><td>入居前は心配していましたが、入居初日から施設の生活にも慣れており、安心しました。イベントは、日常の中で普段とは違う「非日常」を感じられる良い機会になっていると思います。母に聞くと、イベントの時に外で食べたちらし寿司が一番おいしかったと今でも話しており、よほど印象に残っているのだと思いました。</td></tr><tr><td>⑫</td><td>離れて暮らす家族に施設での様子を知ってもらうためにインスタグラムを紹介したいと思います。</td></tr></table>			①	行事、イベントを楽しそうにしている。ピールのゼリーは初めて見ました。ラベルをガリラヤにしているのがこだわりを感じます。	②	事故報告よりヒヤリハットが減っている。ヒヤリハットの積み重ねで大きな事故を減らす。小さな事故の気付きから予防してください。	③	ヒヤリハットとはなにか？	④	イベント盛りだくさんですばらしい。オンラインの研修取り入れている。	⑤	イベントで皆さんいい顔している。刃物は危ないから触らせないようにしている所もある中で、しているのがいいと思いました。家族が犬を連れてくるのは他では外で会っているイメージがあるが施設の中に入って他の利用者ともコミュニケーションをとれている。	⑥	ヒヤリハットは保険屋でもある。客に契約の時に伝えるが勉強した人でも間違える事がある。	⑦	家族が犬を連れて来られる場合、他の施設では外で会うというイメージがありますが、施設の中に犬が入ることで、他の利用者の方とも触れ合ったり、コミュニケーションをとったりできるのが良いと思います。犬が会いに来てくれることで、「触りたい」と自発的に手を伸ばしたり、動かうとされたりすることもあり、良い刺激になっていると感じました。	⑧	母が入居して3年目になります。最近では、「何を食べた？」と聞いても、以前のように返事が返ってこないことが増え、認知症が進んできたのかなと感じることがあります。そのような中でも、動画や写真を通して母の笑顔を見ることができ、安心しました。犬を笑顔で触っている姿も見ることができ、施設でいろいろな経験や楽しい時間を過ごさせていただいていることに感謝しています。	⑩	毎回、イベントの内容が工夫されていて感心します。皆さんの表情もいきいきしており、手作り感のあるおやつも良いと思いました。	⑪	入居前は心配していましたが、入居初日から施設の生活にも慣れており、安心しました。イベントは、日常の中で普段とは違う「非日常」を感じられる良い機会になっていると思います。母に聞くと、イベントの時に外で食べたちらし寿司が一番おいしかったと今でも話しており、よほど印象に残っているのだと思いました。	⑫	離れて暮らす家族に施設での様子を知ってもらうためにインスタグラムを紹介したいと思います。				
①	行事、イベントを楽しそうにしている。ピールのゼリーは初めて見ました。ラベルをガリラヤにしているのがこだわりを感じます。																												
②	事故報告よりヒヤリハットが減っている。ヒヤリハットの積み重ねで大きな事故を減らす。小さな事故の気付きから予防してください。																												
③	ヒヤリハットとはなにか？																												
④	イベント盛りだくさんですばらしい。オンラインの研修取り入れている。																												
⑤	イベントで皆さんいい顔している。刃物は危ないから触らせないようにしている所もある中で、しているのがいいと思いました。家族が犬を連れてくるのは他では外で会っているイメージがあるが施設の中に入って他の利用者ともコミュニケーションをとれている。																												
⑥	ヒヤリハットは保険屋でもある。客に契約の時に伝えるが勉強した人でも間違える事がある。																												
⑦	家族が犬を連れて来られる場合、他の施設では外で会うというイメージがありますが、施設の中に犬が入ることで、他の利用者の方とも触れ合ったり、コミュニケーションをとったりできるのが良いと思います。犬が会いに来てくれることで、「触りたい」と自発的に手を伸ばしたり、動かうとされたりすることもあり、良い刺激になっていると感じました。																												
⑧	母が入居して3年目になります。最近では、「何を食べた？」と聞いても、以前のように返事が返ってこないことが増え、認知症が進んできたのかなと感じることがあります。そのような中でも、動画や写真を通して母の笑顔を見ることができ、安心しました。犬を笑顔で触っている姿も見ることができ、施設でいろいろな経験や楽しい時間を過ごさせていただいていることに感謝しています。																												
⑩	毎回、イベントの内容が工夫されていて感心します。皆さんの表情もいきいきしており、手作り感のあるおやつも良いと思いました。																												
⑪	入居前は心配していましたが、入居初日から施設の生活にも慣れており、安心しました。イベントは、日常の中で普段とは違う「非日常」を感じられる良い機会になっていると思います。母に聞くと、イベントの時に外で食べたちらし寿司が一番おいしかったと今でも話しており、よほど印象に残っているのだと思いました。																												
⑫	離れて暮らす家族に施設での様子を知ってもらうためにインスタグラムを紹介したいと思います。																												
7 要望、助言に対する考え方	<table><tr><td>①④</td><td>季節行事は年間で計画を立て、スタッフも準備をしながら、利用者の皆様に楽しんでいただけるよう取り組んでいます。スタッフも「少しでも楽しんでいただきたい」という思いを持って工夫しています。感染症が発生すると、行事を縮小したり中止したりする必要もあるため、今後も感染対策に十分気を付けながら、できる限り楽しい行事を実施していきたいと思います。</td></tr><tr><td>③</td><td>ヒヤリハットとは、事故にはならなかったけれど、「危なかった」「一歩間違えば事故になっていた」出来事のことです。</td></tr><tr><td>②</td><td>事故報告については、年間の推移に大きな変化はありません。特養の事故報告の内訳では内出血が大半を占めていますが、内服薬の影響などにより内出血がしやすい方もおられ、ヒヤリハットとしての報告につながりにくい状況があります。ご自身で搔いてしまうことでできるものもありますが、小さな変化や気付きを大切に、事故防止につなげていきたいと思っています。</td></tr><tr><td>④</td><td>オンラインでの研修も継続して実施していきたいと思っています。また、感染症対策訓練については、実際にスタッフが集まり実践を交えながら訓練を行いました。今後も研修や訓練を継続していきたいと思っています。</td></tr><tr><td>⑦</td><td>面会に来ている犬はとてもお利口で、吠えることもなくおとなしいため、セラピー犬のように安心して利用者の皆様と交流することができています。スタッフにとってもご入居者にとっても癒しになっており、良い時間を過ごしていただけていると感じています。</td></tr></table>			①④	季節行事は年間で計画を立て、スタッフも準備をしながら、利用者の皆様に楽しんでいただけるよう取り組んでいます。スタッフも「少しでも楽しんでいただきたい」という思いを持って工夫しています。感染症が発生すると、行事を縮小したり中止したりする必要もあるため、今後も感染対策に十分気を付けながら、できる限り楽しい行事を実施していきたいと思います。	③	ヒヤリハットとは、事故にはならなかったけれど、「危なかった」「一歩間違えば事故になっていた」出来事のことです。	②	事故報告については、年間の推移に大きな変化はありません。特養の事故報告の内訳では内出血が大半を占めていますが、内服薬の影響などにより内出血がしやすい方もおられ、ヒヤリハットとしての報告につながりにくい状況があります。ご自身で搔いてしまうことでできるものもありますが、小さな変化や気付きを大切に、事故防止につなげていきたいと思っています。	④	オンラインでの研修も継続して実施していきたいと思っています。また、感染症対策訓練については、実際にスタッフが集まり実践を交えながら訓練を行いました。今後も研修や訓練を継続していきたいと思っています。	⑦	面会に来ている犬はとてもお利口で、吠えることもなくおとなしいため、セラピー犬のように安心して利用者の皆様と交流することができています。スタッフにとってもご入居者にとっても癒しになっており、良い時間を過ごしていただけていると感じています。																
①④	季節行事は年間で計画を立て、スタッフも準備をしながら、利用者の皆様に楽しんでいただけるよう取り組んでいます。スタッフも「少しでも楽しんでいただきたい」という思いを持って工夫しています。感染症が発生すると、行事を縮小したり中止したりする必要もあるため、今後も感染対策に十分気を付けながら、できる限り楽しい行事を実施していきたいと思います。																												
③	ヒヤリハットとは、事故にはならなかったけれど、「危なかった」「一歩間違えば事故になっていた」出来事のことです。																												
②	事故報告については、年間の推移に大きな変化はありません。特養の事故報告の内訳では内出血が大半を占めていますが、内服薬の影響などにより内出血がしやすい方もおられ、ヒヤリハットとしての報告につながりにくい状況があります。ご自身で搔いてしまうことでできるものもありますが、小さな変化や気付きを大切に、事故防止につなげていきたいと思っています。																												
④	オンラインでの研修も継続して実施していきたいと思っています。また、感染症対策訓練については、実際にスタッフが集まり実践を交えながら訓練を行いました。今後も研修や訓練を継続していきたいと思っています。																												
⑦	面会に来ている犬はとてもお利口で、吠えることもなくおとなしいため、セラピー犬のように安心して利用者の皆様と交流することができています。スタッフにとってもご入居者にとっても癒しになっており、良い時間を過ごしていただけていると感じています。																												
8 その他特記事項	<table><tr><td></td><td>現在、アメリカとイランの情勢の影響により、物品が入りにくくなっている状況があります。今後も物品の供給状況を確認しながら、必要な物を確保できるよう対応していきたいと思っています。</td></tr></table>				現在、アメリカとイランの情勢の影響により、物品が入りにくくなっている状況があります。今後も物品の供給状況を確認しながら、必要な物を確保できるよう対応していきたいと思っています。																								
	現在、アメリカとイランの情勢の影響により、物品が入りにくくなっている状況があります。今後も物品の供給状況を確認しながら、必要な物を確保できるよう対応していきたいと思っています。																												

(共通様式2)

運営推進会議等開催報告書

令和 8年 7月 23日

事業所名	小規模特別養護老人ホーム ガリラヤ久米		
担当者	二神靖夫	電話番号	970-9101

1 開催日時	令和 8年 7月 23日 13:30 ～ 14:30								
2 開催場所	ガリラヤ久米 3F 多目的ホール								
3 出席者	<table border="1"> <tr> <td>6 人</td> <td>地域包括支援センター小野久米 松山市社会福祉協議会 民生児童委員 グループホームご家族様 小規模特別養護老人ホームご家族様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 職員 7 人</td> <td>理事長 施設長 副施設長 特養短期係長 グループホーム係長 小規模特別養護老人ホーム生活相談員主任 小規模特別養護老人ホーム生活相談員</td> <td>佐々木 信也 佐々木 忍 二神 靖夫 和田 久美 西岡 忍 横山 恵美 吉田 千夏子</td> </tr> </table>			6 人	地域包括支援センター小野久米 松山市社会福祉協議会 民生児童委員 グループホームご家族様 小規模特別養護老人ホームご家族様		(2) 職員 7 人	理事長 施設長 副施設長 特養短期係長 グループホーム係長 小規模特別養護老人ホーム生活相談員主任 小規模特別養護老人ホーム生活相談員	佐々木 信也 佐々木 忍 二神 靖夫 和田 久美 西岡 忍 横山 恵美 吉田 千夏子
6 人	地域包括支援センター小野久米 松山市社会福祉協議会 民生児童委員 グループホームご家族様 小規模特別養護老人ホームご家族様								
(2) 職員 7 人	理事長 施設長 副施設長 特養短期係長 グループホーム係長 小規模特別養護老人ホーム生活相談員主任 小規模特別養護老人ホーム生活相談員	佐々木 信也 佐々木 忍 二神 靖夫 和田 久美 西岡 忍 横山 恵美 吉田 千夏子							
4 活動状況報告	別紙のとおり								
5 活動状況に関する評価	行事や外出、日々の活動を通して、皆さんがいきいきと過ごされている様子が伝わり、一人ひとりのできることを大切にしたい取り組みが行えています。								
6 主な要望、助言等	① 行事ごとに楽しそうなイベントが行われており、工夫されていると感じました。ビールゼリーは初めて見ましたが、ビールの銘柄を「GALI」にするなど、細かなところまでこだわりが感じられ、楽しい取り組みだと思いました。 ② ヒヤリハットとはなにか。 ③ 事故報告件数よりも、ヒヤリハットの報告件数が減ってしまっています。ヒヤリハットの積み重ねが大きな事故を減らすことにつながります。小さな気付きで大きな事故を予防してください。 ④ イベントが盛りだくさんで、外出行事も行っているのが良いと思います。最近では、外出行事をなかなか行っていない施設も多いと聞きます。当たり前のように感じるのですが、実際には当たり前ではなく、外出できる機会をつくることは大切な取り組みだと思います。 ⑤ オンライン研修についても、今後も継続して実施してください。 ⑥ イベントの写真を拝見し、皆さんとても良い表情をされていると感じました。刃物は危険もありますが、包丁を使える方には実際に使っていたくなど、その方のできることを大切にしている点が良いと思います。できることを行っていたくことで自信にもつながると思います。 ⑦ 家族が犬を連れて来られる場合、他の施設では外で会うというイメージがありますが、施設の中に犬が入ることで、他の利用者の方とも触れ合ったり、コミュニケーションをとったりできるのが良いと思います。犬が会いに来てくれることで、「触りたい」と自発的に手を伸ばしたり、動かうとされたりすることもあり、良い刺激になっていると感じました。 ⑧ 母が入居して3年目になります。最近では、「何を食べた？」と聞いても、以前のように返事が返ってこないことが増え、認知症が進んできたのかなと感じることがあります。そのような中でも、動画や写真を通して母の笑顔を見ることができ、安心しました。犬を笑顔で触っている姿も見ることができ、施設でいろいろな経験や楽しい時間を過ごさせていただけに感謝しています。 ⑩ 毎回、イベントの内容が工夫されていて感心します。皆さんの表情もいきいきとしており、手作り感のあるおやつも良いと思いました。 ⑪ 入居前は心配していましたが、入居初日から施設の生活にも慣れており、安心しました。イベントは、日常の中で普段とは違う「非日常」を感じられる良い機会になっていると思います。母に聞くと、イベントの時に外で食べたちらし寿司が一番おいしかったと今でも話しており、よほど印象に残っているのだと思いました。 ⑫ 離れて暮らす家族に施設での様子を知ってもらうためにインスタグラムを紹介したいと思います。								
7 要望、助言に対する考え方	①④ 季節行事は年間で計画を立て、スタッフも準備をしながら、利用者の皆様に楽しんでいただけるよう取り組んでいます。スタッフも「少しでも楽しんでいただきたい」という思いを持って工夫しています。感染症が発生すると、行事を縮小したり中止したりする必要もあるため、今後も感染対策に十分気を付けながら、できる限り楽しい行事を実施していきたいと思っています。 ② ヒヤリハットとは、事故にはならなかったけれど、「危なかった」「一歩間違えば事故になっていた」出来事のことです。 ③ 事故報告については、年間の推移に大きな変化はありません。特養の事故報告の内訳では内出血が大半を占めていますが、内服薬の影響などにより内出血ができやすい方もおられ、ヒヤリハットとしての報告につながりにくい状況があります。ご自身で怪してしまうことでできるものもありますが、小さな変化や気付きを大切に、事故防止につなげていきたいと思っています。 ⑤ オンラインでの研修も継続して実施していきたいと思っています。また、感染症対策訓練については、実際にスタッフが集まり実践を交えながら訓練を行いました。今後も研修や訓練を継続していきたいと思っています。 ⑦ 面会に来ている犬はほとんどお利口で、吠えることもなくおとなしいため、セラピー犬のように安心して利用者の皆様と交流することができています。スタッフにとってもご入居者にとっても癒しとなっており、良い時間を過ごしていただけていると感じています。								
8 その他特記事項	現在、アメリカとイランの情勢の影響により、物品が入りにくくなっている状況があります。今後も物品の供給状況を確認しながら、必要な物を確保できるよう対応していきたいと思っています。								